

Business Report

第20期 第2四半期株主通信 2016.4.1 ▶ 2016.9.30

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、ここに当社グループの第20期第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

業績の概要



代表取締役社長 田中 久男

●当第2四半期の業績

当第2四半期の業績は、売上高109億91百万円、営業利益24億21百万円、経常利益23億77百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益15億40百万円となりました。

当社グループが属する業界では、半導体市場については、IoTの普及によるデータサーバー向けメモリーの増加や自動運転などに使われる車載用半導体の搭載量が増加したことで堅調に推移しました。また、中小型ディスプレイ市場については、中国スマートフォンが高機能化することで製品需要の低迷に歯止めがかかり、一方、有機ELパネルの大規模な設備投資の計画に注目が集まりました。

このような状況の中、当社グループのエレクトロニクス関連事業において、顧客の設備投資に伴い発生するイニシャル部門は、主要顧客である半導体・中小型ディスプレイ工場における設備投資が引き続き実施されたことから好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門は、主要顧客である半導体・中小型ディスプレイ工場での生産活動が順調に推移したことから、主に国内および海外での特殊ガス販売、オンサイト事業、半導体製造装置メンテナンスが好調に推移した結果、売上高は103億53百万円、セグメント利益は26億35百万円となりました。

ました。

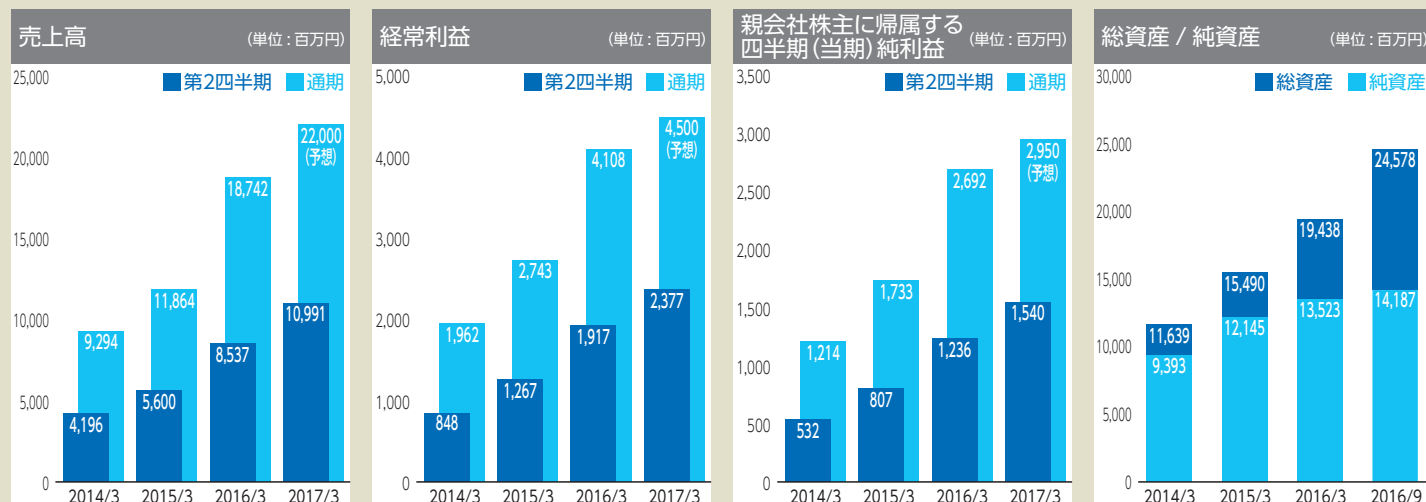
一方、グラフィックスソリューション事業においては、積極的な営業活動を継続したことでデジタルサイネージ向け販売、ケーブル販売を中心に堅調に推移した結果、売上高は5億21百万円、セグメント利益は55百万円となりました。

また、太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計3.9メガワット)が稼働した結果、売上高は1億17百万円、セグメント利益は32百万円となりました。

●通期の見通し

エレクトロニクス関連事業においては、主要顧客における設備投資に関する受注を確実に獲得し、半導体製造装置メンテナンスやトータルファシリティマネジメントの拡充を図ることで事業拡大に繋げていきたいと考えております。一方、グラフィックスソリューション事業においても、積極的な営業活動を継続して実施することで販売の拡大を図ります。これらの計画により当社グループの通期見通しは、売上高220億円、営業利益45億円、経常利益45億円、親会社株主に帰属する当期純利益29億50百万円としております。

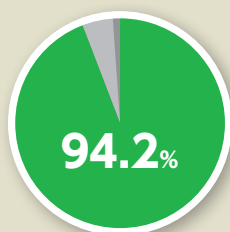
業績ハイライト



エレクトロニクス関連事業

最先端工場等へのトータルファシリティサービスを提供

事業別売上高比率



【事業内容】

主に半導体・液晶などの製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液などに関連するインフラ事業動力・空調などを含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。

更に、お客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売などでの技術サービスを提供しております。

【当第2四半期の業績】

売上高	103億53百万円 (前年同期比 28.0%増)
セグメント利益	26億35百万円 (前年同期比 26.9%増)

イニシャル(主に工場建設立ち上げ・増設時)

特殊ガス供給装置製造	供給配管設計施工
------------	----------

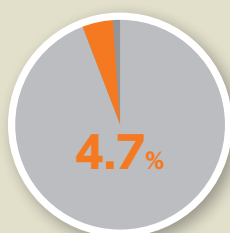
オペレーション(主に工場稼働後の運転・保守・管理)

技術サービス						その他
特殊ガス販売管理業務	メンテナンスサービス	薬液供給管理	超純水プラント運転管理業務	動力空調	半導体製造装置メンテナンス	メンテナンス用品製造・販売 オンサイト

グラフィックスソリューション事業

マルチディスプレイシステムを中心としたソリューションを提供

事業別売上高比率



【事業内容】

グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品などの販売・サポートを行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビションなどの幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送用ビデオ機器などの販売・サポートを行っております。

地方局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

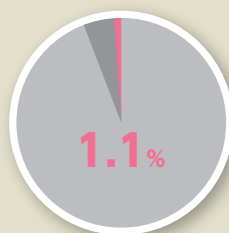
【当第2四半期の業績】

売上高	5億21百万円 (前年同期比 18.6%増)
セグメント利益	55百万円 (前年同期比 9.9%増)

太陽光発電事業

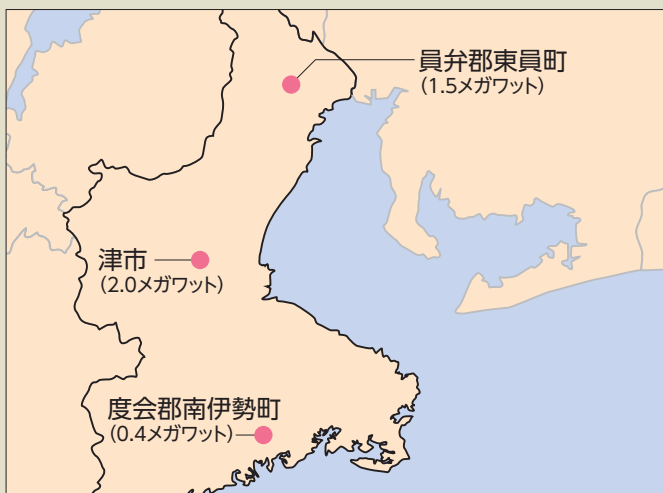
三重県内に3か所の太陽光発電所を開設

事業別売上高比率



【当第2四半期の業績】

売上高	1億17百万円 (前年同期は7百万円)
セグメント利益	32百万円 (前年同期は0.9百万円)



【事業内容】

一般家庭約1,000世帯分の年間消費電力量に相当する約450万Kwhの電気を作り、エネルギーの安定供給と地球温暖化対策などの環境保護に貢献しております。

トピックス

本社工場の拡張

本社工場の建屋を拡張する工事を行っています。拡張する建屋にはクリーンルームを増床することで面積は現状の約2倍の1,200㎡に広がり、特殊ガス供給装置の製造能力も増強します。また、クリーンルームにはトレーニング用の半導体製造設備を設置し実習スペースを設けることで、半導体製造装置の保守エンジニアを育成します。



※イメージ図

議会中継システム「Forum Assist」の販売を開始

自社にて開発した議会中継システム「Forum Assist(フォーラムアシスト)」の販売を開始しました。国内外の放送局で実績のあるグラフィックエンジンを搭載しており、ニュース番組などで目にする映像と同等の品質でテロップ表示を可能にします。すべての操作をタッチパネルで簡単に実行でき、ワンマンオペレーションが可能となります。さらにテロップに必要な情報を議会資料などからテキストファイルとして一括で取り込めるため、議会システムの運用にかかわる事前準備の時間を大幅に短縮できます。



ラジオNIKKEIに代表取締役社長の田中久男が出演

(株)SBI証券投資調査部シニアマーケットアナリスト藤本誠之さんがレギュラーホストを務めるラジオNIKKEIの生放送コーナー「この企業に注目！相場の福の神」に弊社代表取締役社長の田中久男が出演しました。弊社の経営ビジョンであるWork-by 3G(トリプルジェネレーション)、事業内容や成長戦略などについて藤本さんと対談しました。

対談の内容はラジオNIKKEIのホームページで配信されています。
<http://market.radionikkei.jp/fukunokami/ondemandlist.html>



会社情報

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
(英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
設立年月日：1997年4月28日
資本金：13億1,781万5,250円
上場市場：東証一部、名証一部
代表者：代表取締役社長 田中久男
従業員数：(連結)828名、(単独)217名
本店所在地：三重県三重郡菰野町永井3098番22

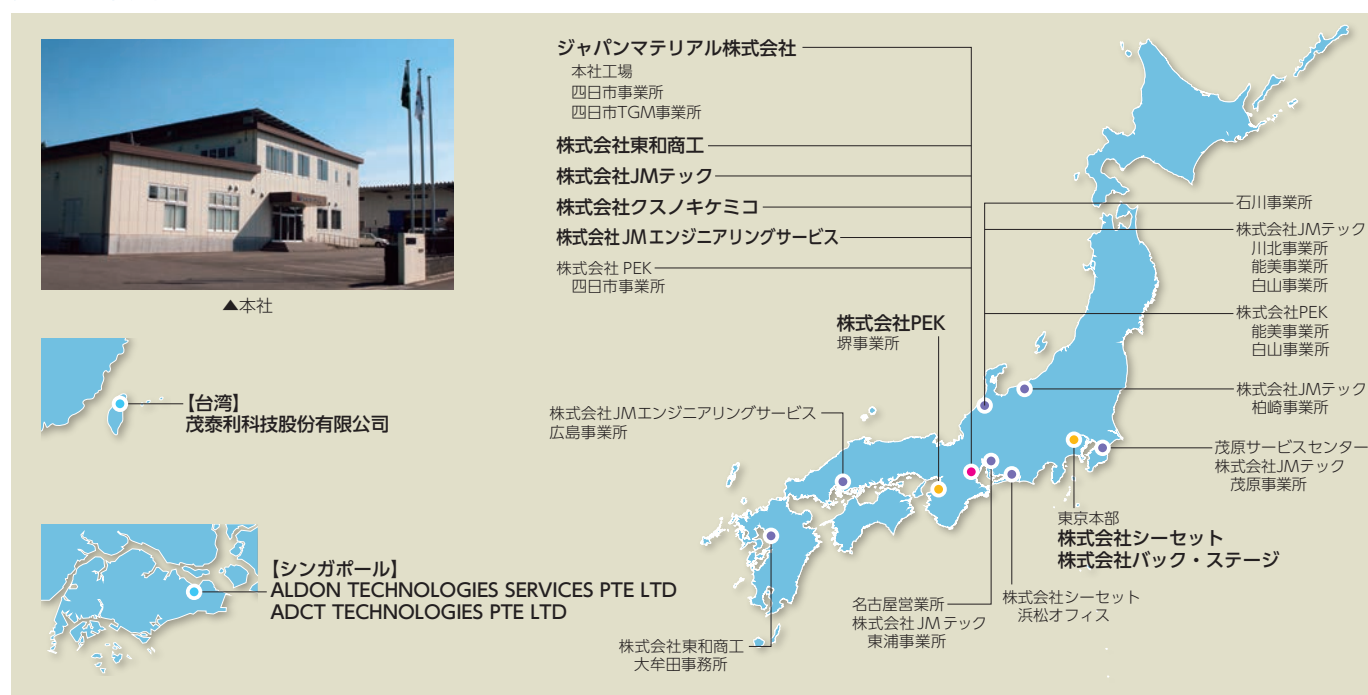
役 員
代表取締役社長 田中久男
常務取締役執行役員 深谷圭
取締役執行役員 長谷圭
取締役執行役員 小川圭
取締役執行役員 坂口好
取締役執行役員 門脇宏
取締役執行役員 田中智
社外取締役 町田和
社外取締役 大島次
常勤監査役 喜多照
社外監査役 安井広
社外監査役 春馬葉
執行役員 森正
執行役員 西村辰
勝彦

関係会社

名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容	名称	住所	資本金 (単位：百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業	茂泰利科技股份有限公司	台湾台中市	110,000千NTD	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業	ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	340千SGD	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業	ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	200千SGD	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菰野町	30	エレクトロニクス関連事業	株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社PEK	大阪府堺市堺区	20	エレクトロニクス関連事業	株式会社バック・ステージ*	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業

*非連結

グループネットワーク



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当)
定時株主総会	毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 掲 載 方 法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証 券 コ ー ド 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページで最新情報を提供

当社のホームページでは、会社情報、各事業情報、CSR情報等に加え、充実したIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.j-material.jp/>



▲トップページ



▲IR情報トップページ

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。